

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃～105℃ ^(注1)	保存温度範囲	-10℃～60℃ ^(注2)	
	電 圧	AC 100 V	使用湿度範囲	相対湿度 85 %以下 (但し結露の無いこと)	
	電 流	0.5 A	保存湿度範囲		
性能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) 以下で測定する。	30 mΩ以下 ^(注3)	○	—
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。 △1	○	—
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力: 40.0 N以下 引抜力: 4.0 N以上	○	—
	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 40 mΩ以下 ^(注3) ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗: 40 mΩ以下 ^(注3) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 → 30 分 を 5 サイクル 試験する。 (槽の移し変え時間は 2～3 分)		○	—
	耐熱性	温度 105℃中に 96 時間放置する。	①接触抵抗: 40 mΩ以下 ^(注3) ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		○	—
	はんだ耐熱性	【リフロー】ピーク温度 MAX 260℃ 220℃以上 60 秒以内	外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと。	○	—
		【はんだごて】こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内		○	—
はんだ付け性	はんだ温度 240 ± 3℃、浸せき時間 3 秒の はんだ付けを行う。	はんだ浸漬面の 95 %以上が 新しいはんだで濡れていること。	○	—	